

【数学】

1 採択教科用図書

- 啓林館

2 採択理由

(1) 啓林館は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 数学科の目標を達成するために、内容を精選した章末問題「学びをたしかめよう」や個に応じて活用する「もっと練習しよう」等を設定し、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、数学を学ぶ意義や有用性を実感できる題材である各節の導入「学習のとびら」を設定し、生徒が主体的に学習に取り組めようにするなどの、構成・配列の工夫が見られる。
- 数学的な見方・考え方を働かせるためにキャラクターを配置し、問題を広げたり深めたりする視点を示すことで、自ら問題を見出す力を養えるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。
- 学習効果や使用上の利便性を図るため、裏表紙の縦開きから始まる「自分から学ぼう編」を設定し、必修の部分と自分の興味に応じて取り組んでよい部分を明確にするとともに、生徒にとって分かりやすくするため、QRコードを掲載し、学習内容に関連した動画や詳しい解説を閲覧できるような工夫が見られる。

(2) 啓林館は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- これまでの学びや経験を生かすことについては、「数学ライブラリー」「学びをいかそう」で、既習内容を身近な事象と関連付けて考察することを通して、興味・関心をもって主体的に取り組み、数学の有用性を実感するような工夫が見られる。
- 生徒一人一人の学力を身に付けさせるために、章末の「学びを確かめよう」で基本的な問題を解くことができ、巻末の「もっと練習しよう」では、つまづいた問題に対して、振り返って確認できるような工夫が見られる。

日向市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、啓林館の教科用図書が最適であるとして採択した。